

# 地場企業の経営動向調査

(平成23年度第3・四半期)

平成24年2月17日

 福岡商工会議所

総合企画本部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

## 調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## 調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,388社（構成比率92.5%）、大企業112社（構成比率7.5%）により構成されている。

回答した企業数は 608社、回答率 40.5%となっており、回答企業の内訳は、中小企業569社（構成比率93.6%）、大企業39社（構成比率6.4%）となっている。

※ 中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

## 調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成23年10～12月期の実績、及び平成24年1～3月期の予想について、平成23年12月末時点で調査した。

## 調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI …… Diffusion Index（景気動向指数）の略

### 《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 売掛期間
8. 資金繰り
9. 100万円以上の新規借入

平成23年度 第3・四半期

調査対象企業数及び回収結果

規模別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	608	40.5%	
中小企業	1,388	569	41.0%	93.6%
大企業	112	39	34.8%	6.4%

業種別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	608	40.5%	
建設業	233	100	42.9%	16.4%
土木建設業	82	36	43.9%	5.9%
建設付帯工事業	73	23	31.5%	3.8%
電気・管工事業	78	41	52.6%	6.7%
製造業	183	82	44.8%	13.5%
食料品製造業	36	20	55.6%	3.3%
繊維製品製造業	12	7	58.3%	1.2%
建材・木・紙製品製造業	15	6	40.0%	1.0%
印刷・製本業	29	12	41.4%	2.0%
窯業・土石製品製造業	10	5	50.0%	0.8%
金属製品製造業	18	9	50.0%	1.5%
一般機械器具製造業	23	9	39.1%	1.5%
電気機械器具製造業	15	6	40.0%	1.0%
その他製造業	25	8	32.0%	1.3%
卸売業	224	104	46.4%	17.1%
食料品卸売業	44	15	34.1%	2.5%
繊維製品卸売業	22	11	50.0%	1.8%
建材・住宅機器卸売業	28	16	57.1%	2.6%
紙・文具卸売業	10	5	50.0%	0.8%
金属・鋼材卸売業	10	4	40.0%	0.7%
一般機械器具卸売業	35	15	42.9%	2.5%
石油・化学製品卸売業	15	10	66.7%	1.6%
その他卸売業	60	28	46.7%	4.6%
小売業	222	73	32.9%	12.0%
食料品小売業	53	11	20.8%	1.8%
衣料品・身の回り品卸売業	34	12	35.3%	2.0%
石油・化学製品小売業	5	2	40.0%	0.3%
車両運搬具小売業	16	7	43.8%	1.2%
家電・厨房器具小売業	15	4	26.7%	0.7%
百貨店・セルフ店	10	3	30.0%	0.5%
その他小売業	89	34	38.2%	5.6%
運輸・倉庫業	70	28	40.0%	4.6%
旅客運送業	20	6	30.0%	1.0%
貨物運送・倉庫業	50	22	44.0%	3.6%
サービス業	568	221	38.9%	36.3%
情報処理サービス業	70	34	48.6%	5.6%
その他事務所サービス業	331	134	40.5%	22.0%
ホテル・旅館・飲食業	111	27	24.3%	4.4%
その他の個人サービス業	56	26	46.4%	4.3%

## 「 福商・経営動向調査 」 調査結果

### 景況概況（DI 値の動き）

1. 自社業況は、今期▲27.1となり、前期との比較ではマイナス1.7ポイントと2期ぶりの悪化となった。  
業種別に対前期比をみると、卸売業がマイナス9.5ポイント（前期DI値▲21.3）、建設業マイナス9.0ポイント（同▲23.0）、サービス業マイナス3.0ポイント（同▲27.3）、運輸・倉庫業マイナス0.1ポイント（同▲3.7）と4業種で悪化し、製造業プラス11.3ポイント（同▲24.8）、小売業プラス9.5ポイント（同▲42.4）、と2業種で改善となった。  
次四半期（H24年1～3月）の全業種予測DI値は▲26.7（今期比プラス0.4ポイント）となっており、ほぼ横ばいが予測されている。
2. 業界の景気動向は、今期▲46.9と前期との比較ではマイナス0.8ポイントと2期ぶりの悪化となった。  
次四半期については▲40.7とプラス6.2ポイントの改善が予測されている。
3. 生産額、売上額、完成工事高は、今期▲17.2となり、前期との比較ではプラス2.0ポイントと2期連続の改善となった。  
次四半期については▲20.5とマイナス3.3ポイントの悪化が予測されている。
4. 原材料、製（商）品仕入価格は、今期16.9と前期との比較ではマイナス5.2ポイントと2期連続の下落となった。  
次四半期については14.5とマイナス2.4ポイントでさらに、下落予測となっている。
5. 受注価格、販売価格は、今期▲28.2と前期との比較ではマイナス1.5ポイントと2期ぶりの悪化となった。  
次四半期については▲20.9とプラス7.3ポイントの改善が予測されている。
6. 営業利益は、今期▲33.8と前期との比較ではマイナス2.8ポイントと2期ぶりの悪化となった。  
次四半期については▲29.8とプラス4.0ポイントの改善が予測されている。
7. 売上増加の理由は、「受注、需要の増加」65.5%、「得意先開拓・客数の増加」42.9%に集中している。  
一方で減少した理由としては、「受注、需要の減少」が75.0%と突出し、「客単価の低下」43.3%、「得意先開拓・客数の減少」32.6%、「天候などの自然条件」19.2%の順となっている。
8. 当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」57.2%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」56.9%、「営業利益の低下」47.0%の3項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。  
他に指摘が集中した項目として、建設業では「官公需要の停滞」が全業種で19.1%に対し45.0%、「元請の減少」が全業種で7.4%に対し29.0%と突出し、非常に高水準となっているのが特徴である。

## まとめ

今期の全業種合計の「自社状況 DI」（DI 値＝前年同期と比較し「良くなった」とする回答割合から「悪くなった」とする回答割合を引いた数値）は、▲27.1 と、東日本大震災の立ち直りなどから景況感が3期ぶりに回復した前期（平成 23 年 7～9 月期）から再び、マイナス 1.7 ポイントの 2 期ぶりの悪化となった。

全体的には、消費や生産など震災の影響は解消に向かい改善が期待されたが、デフレや円高、原材料価格の高止まりが影を落として、国内景気に停滞感が広がるなど、厳しい状況にあると言える。

九州新幹線全線開業の JR 博多シティ開業など、ソフトバンクホークス優勝、外国クルーズ船の博多港寄航再開など、厳しいながらも好材料もあったが全体を押し上げるには至っていない。

規模別にみると、調査対象の 9 割以上を占める中小企業は▲29.9（前期比▲1.6 ポイント）と 2 期ぶりの悪化。一方、大企業は 12.8（同+4.8 ポイント）と 2 期連続の改善となり規模間で差が見られる。

業種別にみると、卸売業、建設業、サービス業、運輸・倉庫業の 4 業種で悪化となったが、製造業、小売業の 2 業種は改善した。

建設業からは、再開された住宅エコポイントなどの措置により住宅着工・リフォームが上昇傾向との声がある一方、公共工事減少による受注競争の激化から厳しい経営を強いられているコメントも多く寄せられている。

改善している小売業では、ソフトバンクホークスの優勝セールの効果や、クリスマスや正月商戦が堅調であったことが挙げられる。また、製造業について、食品製造業、一般機械器具製造業がプラスに寄与している結果となった。

項目別にみると、「生産額、売上額、完成工事高 DI」は若干であるが 2 期連続の改善、また「原材料、製（商）品仕入価格」DI は 2 期連続で下落であったものの、受注元からの値下げ要請や価格競争の激化のため、「受注価格、販売価格」「営業利益 DI」はいずれも 2 期ぶりの悪化となっている。

また、「100 万円以上の設備投資」に関し、「行った」とする企業の割合は、依然として低水準で推移しているなか、3 期ぶりの悪化。中小企業経営の先行きに対する不安感から慎重な姿勢が現れている。

次四半期の予測 DI 値は▲26.7（今期比+0.4 ポイント）と改善の見通しとなっている。業種別では、小売業、サービス業の 2 業種で改

善が予測されているが、製造業、運輸・倉庫業、卸売業、建設業で悪化を予測され、慎重な見方となっている。

東日本大震災による落ち込み後、緩やかな持ち直し傾向にあった中小企業の景況は、復興需要の本格化による波及効果への期待をしつつも、長引くデフレ、電力不足や増税への懸念、海外シフトによる産業空洞化への懸念など不安材料も多いことから、先行きに対して慎重な見方となっている。

#### 《 回答企業の主なコメントより(抜粋) 》

- ・ 異業種が専門店商品の取扱・販売へ新規参入する傾向が見られるが、低価格のみをセールスポイントにしているところが多く、かえって単価下落で企業経営を危うくしているよう。 (小売業)
- ・ 住宅ローンの優遇金利・税制、住宅エコポイントなどの措置により、住宅着工・リフォームは好調。また、耐震化・省エネ商品の需要も上昇気味である。 (建設業)
- ・ 売上は毎月上昇しているが、食料・油、ガソリン等の業務上必要なものが値上がりしているため、営業利益はやや減少傾向。 (食品製造業)
- ・ 震災後半年間は影響がなかったが、原材料の値上げ要請により価格に転嫁できなければ赤字が必至。 (紙・パルプ製造業)
- ・ 公共工事予算の削減により、競争の激化による受注量・受注金額が下落し、利益がでない。 (建設卸売業)

# 1. 自社・業界の景況

《2期ぶりの悪化、次期予測は、ほぼ横ばい》

今四半期（H23年10～12月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は19.3%（前期比-1.4ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は46.4%（前期比-0.3ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は34.2%（前期比+1.3ポイント）となった。DI値は▲27.1（前期DI値▲25.4）となり、前期比で-1.7ポイントと悪化した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、今回の調査で卸売業が-9.5ポイント（前期DI値▲21.3）、建設業-9.0ポイント（同▲23.0）、サービス業-3.0ポイント（同▲27.3）、運輸・倉庫業-0.1ポイント（同3.7）、製造業+11.3ポイント（同▲24.8）、小売業+9.5ポイント（同▲42.4）と製造業と小売業を除く全ての業種で悪化となった。

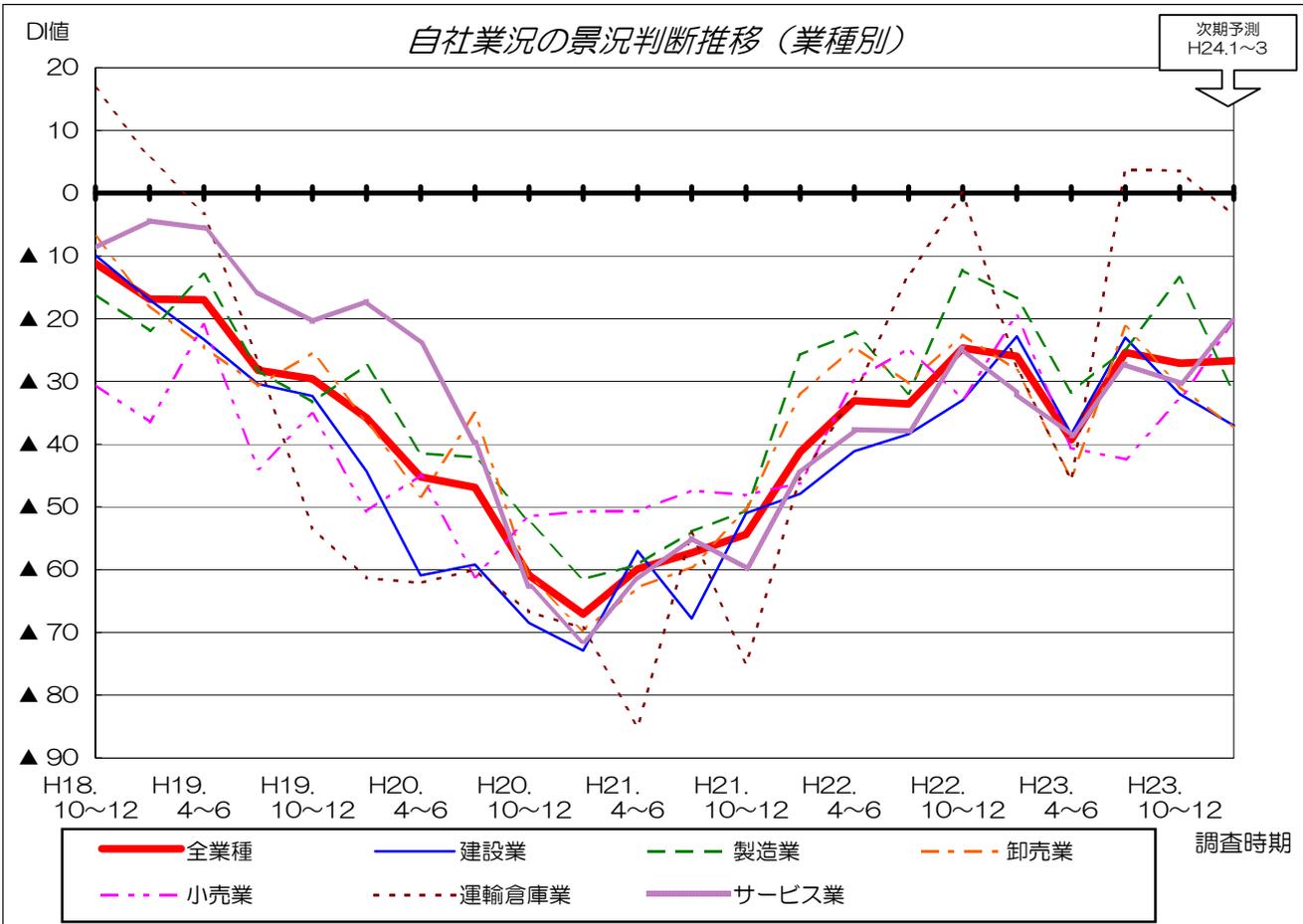
また、規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-1.6ポイント（前期DI値▲28.3）と悪化し、大企業は+4.8ポイント（同8.0）と2期連続の改善となった。

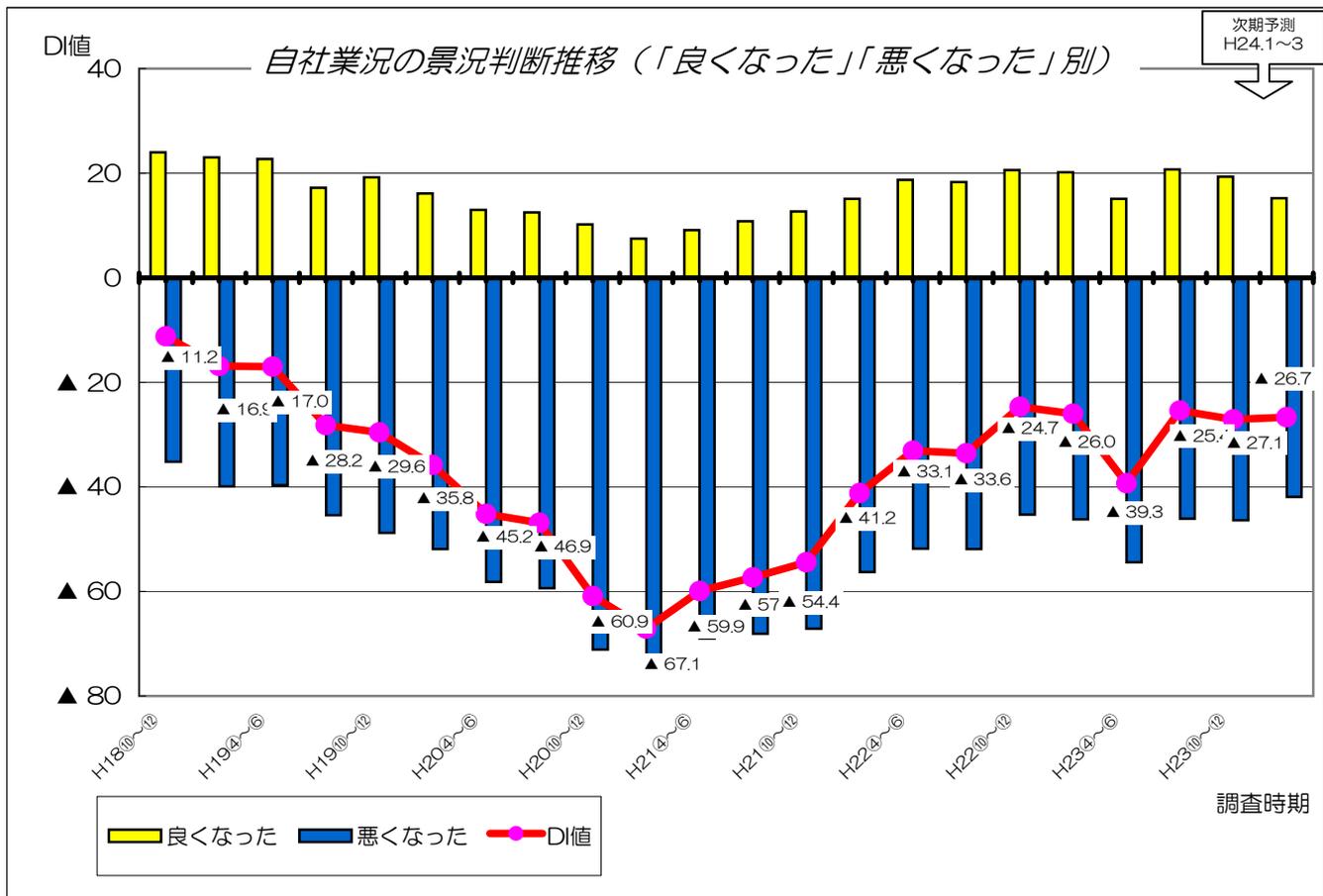
次四半期（H24年1～3月）の全業種予測DI値は▲26.7（今期比+0.4ポイント）とほぼ横ばいの見込みとなった。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

( 単位 % )

	今四半期(23年10～12月期)実績							次四半期(24年1～3月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	1.2	18.1	34.2	35.7	10.7	0.2	▲27.1	1.2	14.0	40.8	34.7	7.2	2.1	▲26.7
建設業	1.0	18.0	30.0	38.0	13.0	0.0	▲32.0	1.0	13.0	34.0	44.0	7.0	1.0	▲37.0
製造業	1.2	28.0	28.0	32.9	9.8	0.0	▲13.5	0.0	14.6	37.8	36.6	9.8	1.2	▲31.8
卸売業	1.0	12.5	42.3	30.8	13.5	0.0	▲30.8	1.0	8.7	41.3	43.3	3.8	1.9	▲37.4
小売業	2.7	16.4	28.8	35.6	16.4	0.0	▲32.9	1.4	17.8	39.7	30.1	9.6	1.4	▲20.5
運輸・倉庫業	0.0	28.6	46.4	21.4	3.6	0.0	3.6	0.0	21.4	50.0	21.4	3.6	3.6	▲3.6
サービス業	0.9	16.3	34.8	39.8	7.7	0.5	▲30.3	1.8	14.5	43.9	29.0	7.7	3.2	▲20.4
中小企業	1.2	16.7	34.1	36.6	11.2	0.2	▲29.9	1.2	13.5	40.2	35.3	7.6	2.1	▲28.2
大企業	0.0	38.5	35.9	23.1	2.6	0.0	12.8	0.0	20.5	48.7	25.6	2.6	2.6	▲7.7





### 業界の景況

《業界景況は2期ぶりの悪化、次期予測は改善へ》

地場企業から見た自社の属する業界の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合が8.4%、「悪くなった」と回答した企業割合が55.3%、「横ばい」と回答した企業割合が35.5%となっており、DI値は▲46.9（前期DI値▲46.1）と前期比で-0.8ポイントの悪化となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、サービス業が-4.1ポイント（前期DI値▲44.3）、製造業-1.6ポイント（同▲46.0）、建設業-1.3ポイント（同▲45.7）と3業種で悪化し、運輸・倉庫業+4.2ポイント（同▲18.5）、小売業+4.1ポイント（同▲56.2）、卸売業+1.5ポイント（同▲49.5）と3業種で改善となった。規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-0.9ポイント（前期DI値▲48.9）と悪化し、大企業は+4.8ポイント（同▲10.0）と2期連続で改善した。

次四半期予測DI値は▲40.7となっており、今期比+6.2ポイントと改善が予測されている。

《 業界の景気動向（前年同期と比較して） 》

（単位 %）

	今四半期(23年10~12月期)実績							次四半期(24年1~3月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	0.2	8.2	35.5	42.3	13.0	0.8	▲46.9	0.8	6.9	40.8	38.2	10.2	3.1	▲40.7
建設業	0.0	11.0	30.0	44.0	14.0	1.0	▲47.0	1.0	9.0	33.0	43.0	12.0	2.0	▲45.0
製造業	0.0	8.5	35.4	43.9	12.2	0.0	▲47.6	0.0	7.3	36.6	43.9	11.0	1.2	▲47.6
卸売業	1.0	4.8	39.4	37.5	16.3	1.0	▲48.0	1.0	1.9	44.2	39.4	11.5	1.9	▲48.0
小売業	0.0	8.2	28.8	49.3	11.0	2.7	▲52.1	0.0	11.0	37.0	39.7	8.2	4.1	▲36.9
運輸・倉庫業	0.0	25.0	35.7	35.7	3.6	0.0	▲14.3	0.0	17.9	46.4	28.6	3.6	3.6	▲14.3
サービス業	0.0	6.3	38.5	41.6	13.1	0.5	▲48.4	1.4	5.4	44.8	33.9	10.0	4.5	▲37.1
中小企業	0.2	7.0	35.1	43.1	13.9	0.7	▲49.8	0.9	6.0	40.4	38.8	10.7	3.2	▲42.6
大企業	0.0	25.6	41.0	30.8	0.0	2.6	▲5.2	0.0	20.5	46.2	28.2	2.6	2.6	▲10.3

## 2. 生産額、売上額、完成工事高

《2期連続の改善、次期予測も改善へ》

生産額、売上額、完成工事高は、全業種平均で「増えた」と回答した企業割合は19.6%、「減った」と回答した企業割合は36.8%となっており、DI値は▲17.2（前期DI値▲19.2）と前期比+2.0ポイントの改善となった。

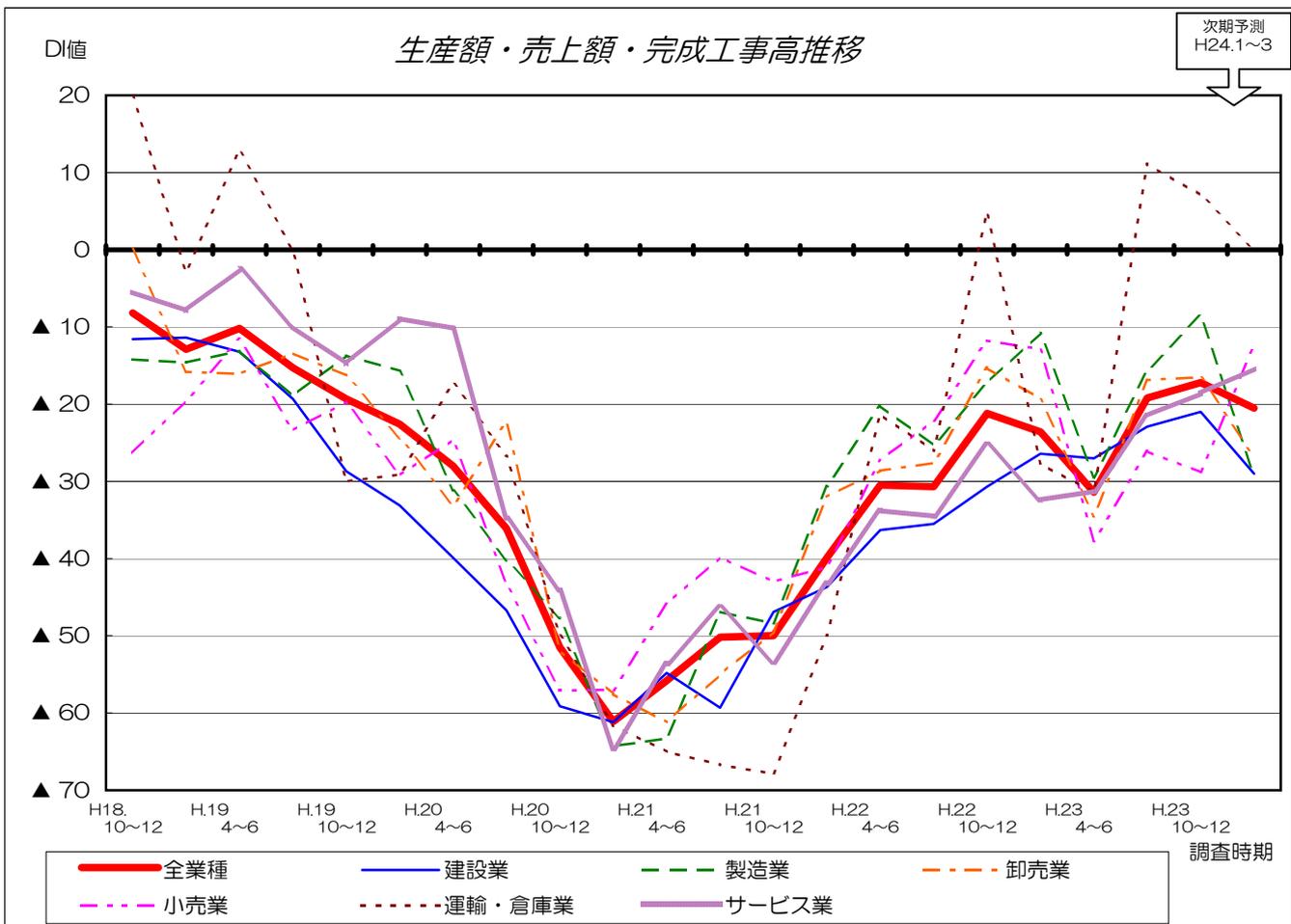
業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業が+7.1ポイント、サービス業+2.9ポイント、建設業+1.9ポイント、卸売業+0.4ポイントと4業種で改善し、運輸・倉庫業-4.0ポイント、小売業-2.7ポイントと2業種で悪化した。

売上が増加した理由としては、「受注、需要の増加」65.5%、「得意先開拓・客数の増加」42.9%に集中している。減少した理由としては、「受注、需要の減少」が75.0%と突出し、「客単価の低下」43.3%、「得意先開拓・客数の減少」32.6%、「天候などの自然条件」19.2%の順となっている。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+2.2ポイント（前期DI値▲22.0）、大企業は前期比+4.0ポイント（同14.0）と2期連続で改善した。

（単位 %）

	今四半期(23年10～12月期)実績							次四半期(24年1～3月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	4.1	15.5	40.1	27.1	9.7	3.5	▲17.2	1.8	11.3	47.2	27.0	6.6	6.1	▲20.5
建設業	3.0	14.0	44.0	27.0	11.0	1.0	▲21.0	1.0	11.0	46.0	32.0	9.0	1.0	▲29.0
製造業	4.9	24.4	31.7	25.6	12.2	1.2	▲8.5	1.2	11.0	45.1	31.7	9.8	1.2	▲29.3
卸売業	3.8	16.3	39.4	27.9	8.7	3.8	▲16.5	1.0	7.7	47.1	31.7	3.8	8.7	▲26.8
小売業	2.7	12.3	31.5	34.2	9.6	9.6	▲28.8	0.0	16.4	45.2	23.3	5.5	9.6	▲12.4
運輸・倉庫業	0.0	25.0	57.1	17.9	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	64.3	14.3	0.0	7.1	0.0
サービス業	5.4	12.2	42.5	26.2	10.0	3.6	▲18.6	3.6	11.3	47.1	23.5	6.8	7.7	▲15.4
中小企業	4.2	14.2	40.1	27.8	10.4	3.3	▲19.8	1.9	11.1	46.6	27.6	6.9	6.0	▲21.5
大企業	2.6	33.3	41.0	17.9	0.0	5.1	18.0	0.0	15.4	56.4	17.9	2.6	7.7	▲5.1



参考資料：（ 2. 生産額、売上額、完成工事高 ）

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より増加した主な理由（複数回答可）（単位：%）

増加理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	天候などの自然条件	増受注又は需要の減少	情道路の変化、交通事	ズは製（商）品又は消費者ニ又	金格出荷定上・販、売料価	促売進出等の販売	へ開新製（商）野品	業業大手進出、他	客得数の先増減拓	又は単価の下上昇	品取量の増減（商）
全業種	8.4	65.5	1.7	7.6	10.9	8.4	14.3	2.5	42.9	14.3	9.2
建設業	0.0	88.2	0.0	0.0	11.8	0.0	17.6	5.9	47.1	11.8	5.9
製造業	4.2	66.7	4.2	16.7	4.2	12.5	25.0	0.0	20.8	12.5	8.3
卸売業	14.3	71.4	4.8	4.8	23.8	14.3	9.5	9.5	47.6	23.8	19.0
小売業	9.1	54.5	0.0	18.2	18.2	36.4	27.3	0.0	45.5	18.2	18.2
運輸・倉庫業	42.9	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	14.3
サービス業	5.1	53.8	0.0	5.1	7.7	0.0	7.7	0.0	51.3	12.8	2.6
中小企業	9.5	64.8	1.9	5.7	10.5	3.8	14.3	2.9	44.8	12.4	8.6
大企業	0.0	71.4	0.0	21.4	14.3	42.9	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3

増加理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の抜、ダウ質（商）	採算線部門張、縮、小	変移工場、立地舗の	約支店の開設、特	力老設の低化、店競争の	又両機は導廃入、備買・替車	員営の増、減、外商社	手技の増者、減、運	又駐は車場の増設	その他	無回答
全業種	2.5	3.4	0.8	6.7	1.7	5.0	2.5	3.4	0.0	4.2	2.5
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9
製造業	4.2	0.0	4.2	0.0	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0
卸売業	0.0	9.5	0.0	9.5	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
小売業	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
運輸・倉庫業	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	2.6	2.6	0.0	7.7	0.0	5.1	5.1	7.7	0.0	5.1	2.6
中小企業	1.9	3.8	1.0	7.6	1.9	5.7	2.9	3.8	0.0	3.8	2.9
大企業	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より減少した主な理由（複数回答可）（単位：%）

減少理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	天候などの自然条件	増受注又は需要の減少	情道路の変化、交通事	ズは製（商）品又は消費者ニ又	金格出荷定上・販、売料価	促売進出等の販売	へ開新製（商）野品	業業大手進出、他	客得数の先増減拓	又は単価の下上昇	品取量の増減（商）
全業種	19.2	75.0	2.7	14.7	20.1	2.2	1.3	21.0	32.6	43.3	5.8
建設業	7.9	100.0	0.0	7.9	10.5	0.0	0.0	21.1	21.1	52.6	0.0
製造業	16.1	90.3	3.2	22.6	32.3	0.0	3.2	3.2	29.0	25.8	9.7
卸売業	26.3	73.7	5.3	13.2	31.6	0.0	2.6	21.1	28.9	42.1	10.5
小売業	31.3	53.1	3.1	21.9	18.8	3.1	0.0	37.5	53.1	46.9	3.1
運輸・倉庫業	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	40.0	20.0
サービス業	17.5	67.5	2.5	13.8	16.3	5.0	1.3	20.0	32.5	45.0	5.0
中小企業	18.4	76.0	2.8	14.3	19.8	2.3	1.4	19.4	33.2	43.8	5.1
大企業	42.9	42.9	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0	71.4	14.3	28.6	28.6

減少理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の抜、ダウ質（商）	採算線部門張、縮、小	変移工場、立地舗の	約支店の開設、特	力老設の低化、店競争の	又両機は導廃入、備買・替車	員営の増、減、外商社	手技の増者、減、運	又駐は車場の増設	その他	無回答
全業種	0.9	0.9	0.9	1.8	5.4	1.3	4.5	2.2	0.4	4.9	1.8
建設業	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	2.6	2.6	0.0	5.3	0.0
製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	6.5	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0
卸売業	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	5.3
小売業	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0	6.3	3.1	3.1	6.3	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	0.0	1.3	2.5	5.0	8.8	0.0	6.3	3.8	0.0	6.3	2.5
中小企業	0.9	0.9	0.9	1.8	5.5	1.4	4.6	2.3	0.5	5.1	1.8
大企業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 3. 原材料、製（商）品仕入価格

《2期連続の下落、次期予測はさらに下落へ》

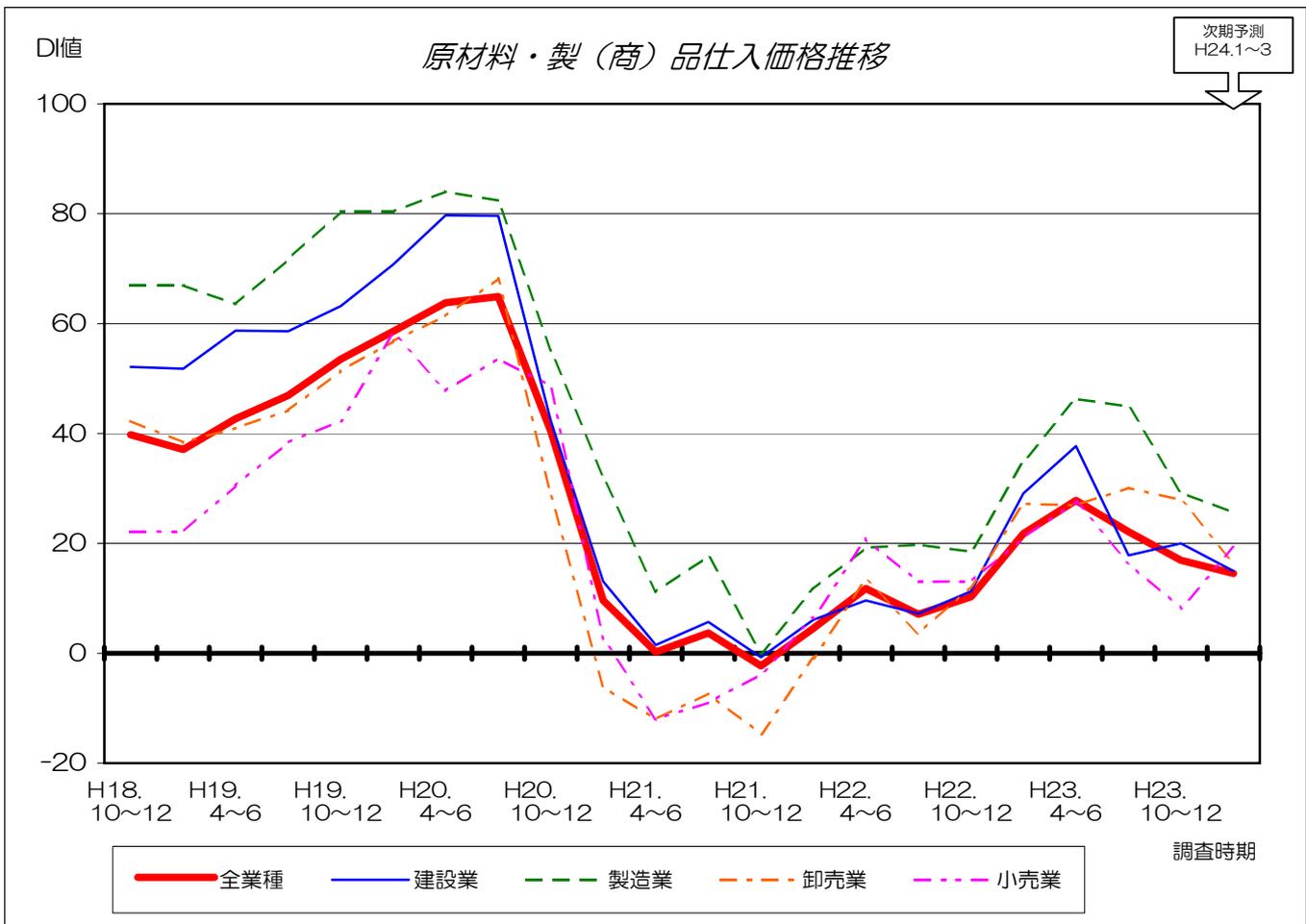
原材料、製（商）品仕入価格は「上昇」と回答した企業割合は22.5%、「下落」と回答した企業割合は5.6%となっており、DI値は16.9（前期DI値22.1）と前期比-5.2ポイントの「下落」となっている。

業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業が+2.2ポイントと増加したものの、製造業-15.6ポイント、小売業-8.2ポイント、運輸・倉庫業-8.1ポイント、サービス業-4.1ポイント、卸売業-2.2ポイントと減少となっている。

また、次四半期予測DI値については14.5となっており、今期比で-2.4ポイントの「下落」予測となっている。

《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(23年10~12月期)実績					次四半期(24年1~3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	22.5	57.7	5.6	14.1	16.9	18.1	60.2	3.6	18.1	14.5
建設業	24.0	65.0	4.0	7.0	20.0	18.0	68.0	3.0	11.0	15.0
製造業	35.4	56.1	6.1	2.4	29.3	30.5	61.0	4.9	3.7	25.6
卸売業	35.6	54.8	7.7	1.9	27.9	21.2	69.2	4.8	4.8	16.4
小売業	16.4	72.6	8.2	2.7	8.2	21.9	67.1	2.7	8.2	19.2
運輸・倉庫業	21.4	25.0	3.6	50.0	17.8	10.7	39.3	3.6	46.4	7.1
サービス業	13.1	55.7	4.5	26.7	8.6	11.8	52.5	3.2	32.6	8.6
中小企業	22.8	56.8	5.8	14.6	17.0	18.3	59.6	3.9	18.3	14.4
大企業	17.9	71.8	2.6	7.7	15.3	15.4	69.2	0.0	15.4	15.4



#### 4. 受注価格、販売価格

《2期ぶりの悪化、次期予測はさらに改善へ》

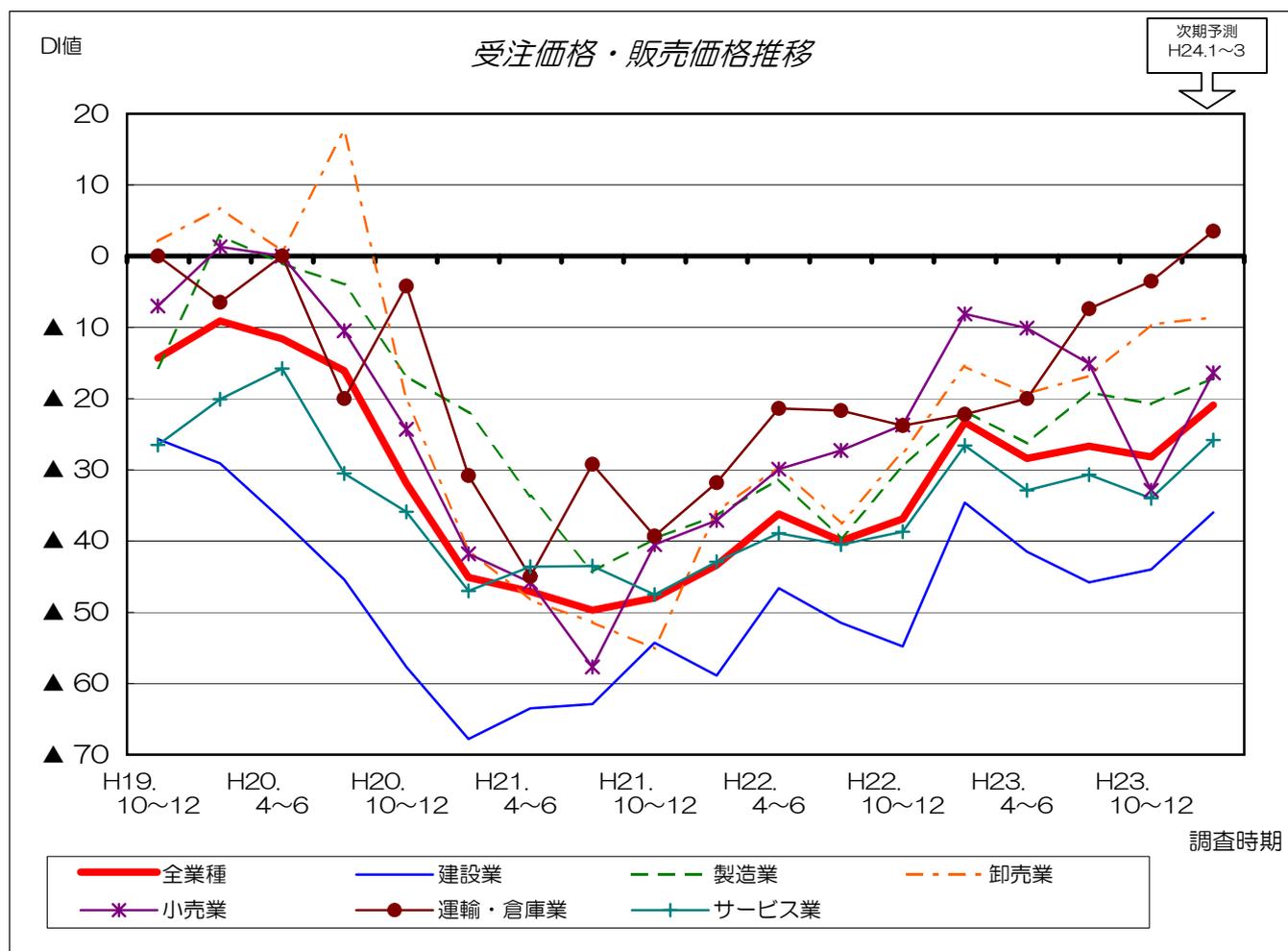
受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業割合は5.4%、「下落」と回答した企業割合は33.6%となっており、DI値は▲28.2（前期DI値▲26.7）と前期比-1.5ポイントの悪化となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、卸売業+7.2ポイント、運輸・倉庫業+3.9ポイント、建設業+1.8ポイントと改善したものの、小売業-17.8ポイント、サービス業-3.3ポイント、製造業-1.7ポイントの悪化となった。

次四半期予測DI値については▲20.9となっており、今期比で+7.3ポイントの改善予測となっている。

《 受注価格、販売価格(前年同月と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(23年10~12月期)実績					次四半期(24年1~3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	5.4	57.2	33.6	3.8	▲28.2	4.8	60.9	25.7	8.7	▲20.9
建設業	4.0	47.0	48.0	1.0	▲44.0	4.0	50.0	40.0	6.0	▲36.0
製造業	2.4	73.2	23.2	1.2	▲20.8	2.4	73.2	19.5	4.9	▲17.1
卸売業	15.4	56.7	25.0	2.9	▲9.6	10.6	66.3	19.2	3.8	▲8.6
小売業	5.5	56.2	38.4	0.0	▲32.9	5.5	64.4	21.9	8.2	▲16.4
運輸・倉庫業	3.6	78.6	7.1	10.7	▲3.5	7.1	78.6	3.6	10.7	3.5
サービス業	2.7	53.8	36.7	6.8	▲34.0	2.7	55.2	28.5	13.6	▲25.8
中小企業	4.7	56.6	34.6	4.0	▲29.9	4.4	59.9	26.9	8.8	▲22.5
大企業	15.4	66.7	17.9	0.0	▲2.5	10.3	74.4	7.7	7.7	2.6



## 5. 製（商）品在庫

《2期連続の悪化、次期予測は改善へ》

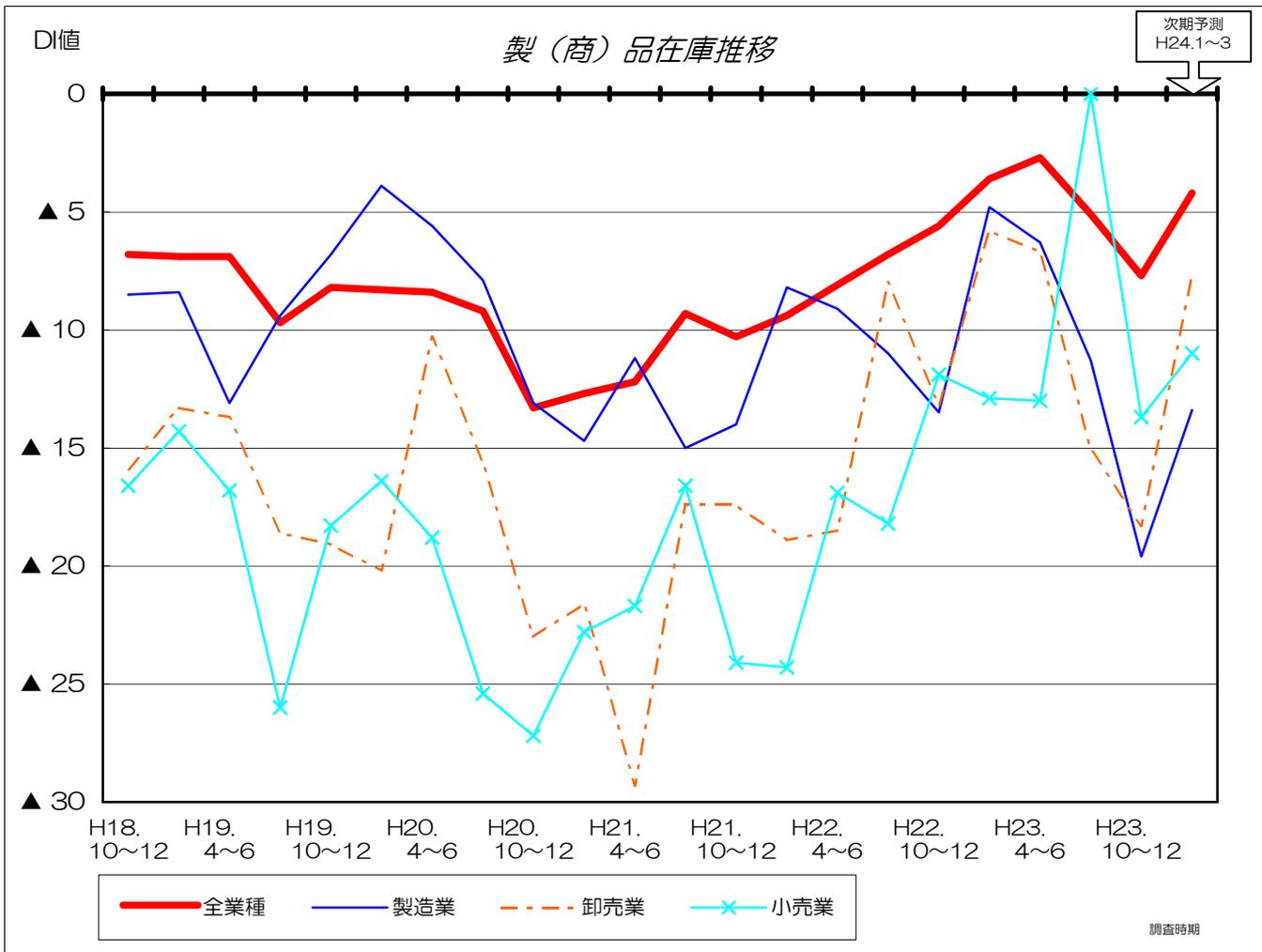
製（商）品在庫は、「適正」と回答した企業割合は59.7%、「不足」と回答した企業割合は3.3%、「過剰」と回答した企業割合は11.0%となっており、DI値は▲7.7（前期DI値▲5.1）と前期比-2.6ポイントの悪化となった。

次四半期予測DI値については▲4.2となっており、今期比で+3.5ポイントの改善が予測されている。

《製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(23年10~12月期)実績					次四半期(24年1~3月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	3.3	59.7	11.0	26.0	▲7.7	2.5	60.4	6.7	30.4	▲4.2
建設業	1.0	58.0	1.0	40.0	0.0	1.0	57.0	0.0	42.0	1.0
製造業	2.4	74.4	22.0	1.2	▲19.6	0.0	81.7	13.4	4.9	▲13.4
卸売業	3.8	71.2	22.1	2.9	▲18.3	3.8	78.8	11.5	5.8	▲7.7
小売業	4.1	74.0	17.8	4.1	▲13.7	2.7	69.9	13.7	13.7	▲11.0
運輸・倉庫業	0.0	25.0	3.6	71.4	▲3.6	0.0	25.0	3.6	71.4	▲3.6
サービス業	4.5	49.3	5.0	41.2	▲0.5	3.6	46.6	3.2	46.6	0.4
中小企業	2.8	59.1	11.6	26.5	▲8.8	2.1	59.9	7.0	30.9	▲4.9
大企業	10.3	69.2	2.6	17.9	7.7	7.7	66.7	2.6	23.1	5.1



## 6. 営業利益

《2期ぶりの悪化、次期予測は改善へ》

営業利益は、「増加」と回答した企業割合は12.7%、「減少」と回答した企業割合は46.5%、「横ばい」と回答した企業割合は39.0%となり、DI値は▲33.8（前期DI値▲31.0）と前期比-2.8ポイントの悪化となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業が+4.3ポイント（前期DI値▲34.8）、運輸・倉庫業+4.3ポイント（同▲18.5）、小売業+4.1ポイント（同▲37.0）と改善したものの、サービス業-7.8ポイント（同▲28.9）、卸売業-6.5ポイント（同▲19.5）、建設業-2.7ポイント（同▲42.3）の悪化となった。

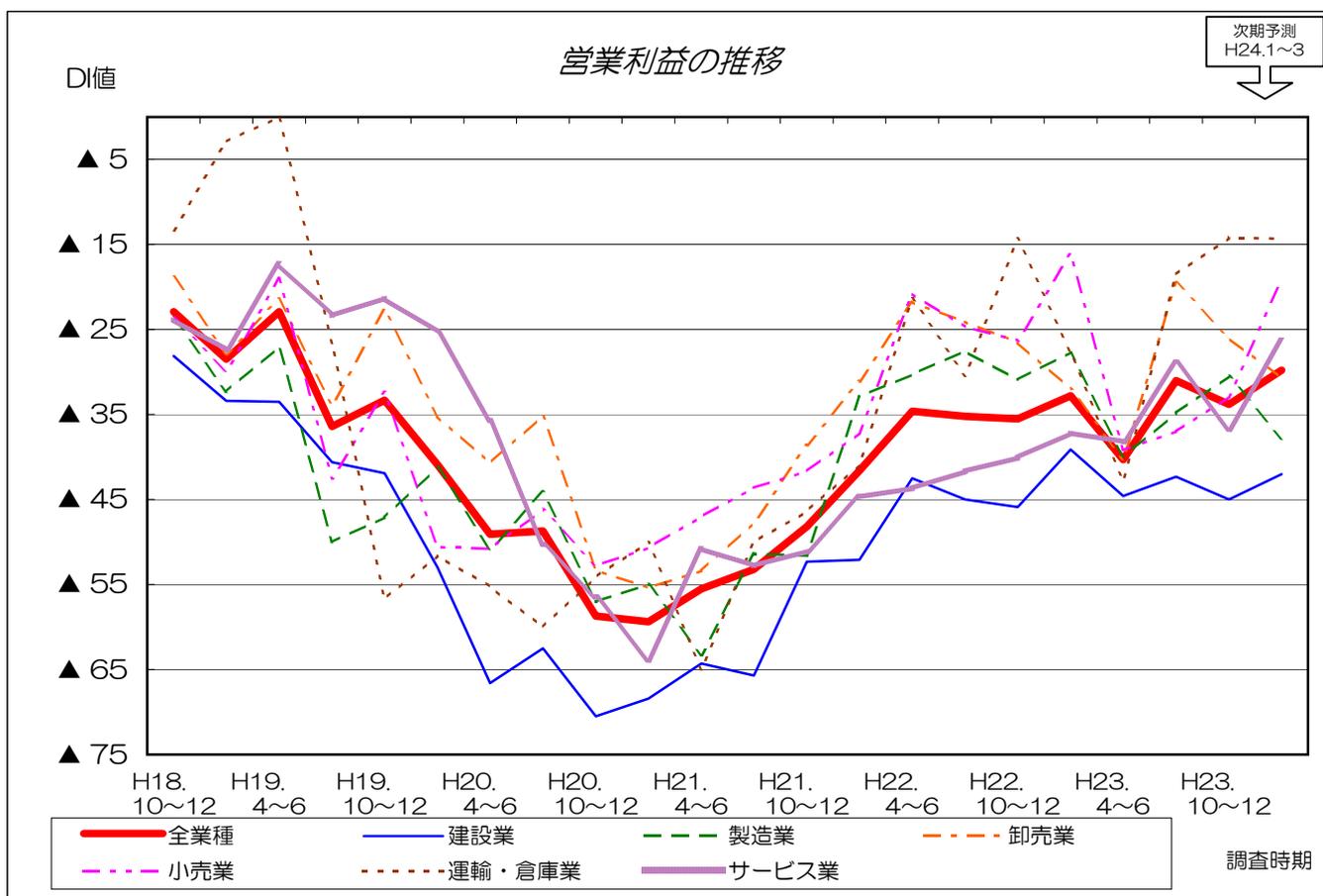
規模別のDI値を見ると、中小企業では前期比-2.8ポイント（前期DI値▲33.4）と悪化し、大企業は前期比+2.0ポイント（同▲2.0）と改善した。

次四半期予測DI値については▲29.8となっており、今期比で+4.0ポイントの改善が予測されている。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》

( 単位 % )

	今四半期(23年10~12月期)実績					次四半期(24年1~3月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	12.7	39.0	46.5	1.8	▲33.8	8.7	45.2	38.5	7.6	▲29.8
建設業	10.0	33.0	55.0	2.0	▲45.0	5.0	42.0	47.0	6.0	▲42.0
製造業	17.1	34.1	47.6	1.2	▲30.5	9.8	36.6	47.6	6.1	▲37.8
卸売業	14.4	41.3	40.4	3.8	▲26.0	5.8	51.9	36.5	5.8	▲30.7
小売業	13.7	39.7	46.6	0.0	▲32.9	12.3	49.3	31.5	6.8	▲19.2
運輸・倉庫業	17.9	46.4	32.1	3.6	▲14.2	7.1	67.9	21.4	3.6	▲14.3
サービス業	10.4	41.2	47.1	1.4	▲36.7	10.4	42.5	36.7	10.4	▲26.3
中小企業	11.6	38.7	47.8	1.9	▲36.2	8.4	44.1	39.9	7.6	▲31.5
大企業	28.2	43.6	28.2	0.0	0.0	12.8	61.5	17.9	7.7	▲5.1



## 7. 売掛期間

《2期ぶりの改善、次期予測はさらに改善へ》

売掛期間は、「短縮化」と回答した企業割合は2.6%、「長期化」と回答した企業割合は10.0%、「不変」と回答した企業割合は83.4%となっており、DI値は▲7.4（前期DI値▲8.7）と前期比+1.3ポイントの改善となった。

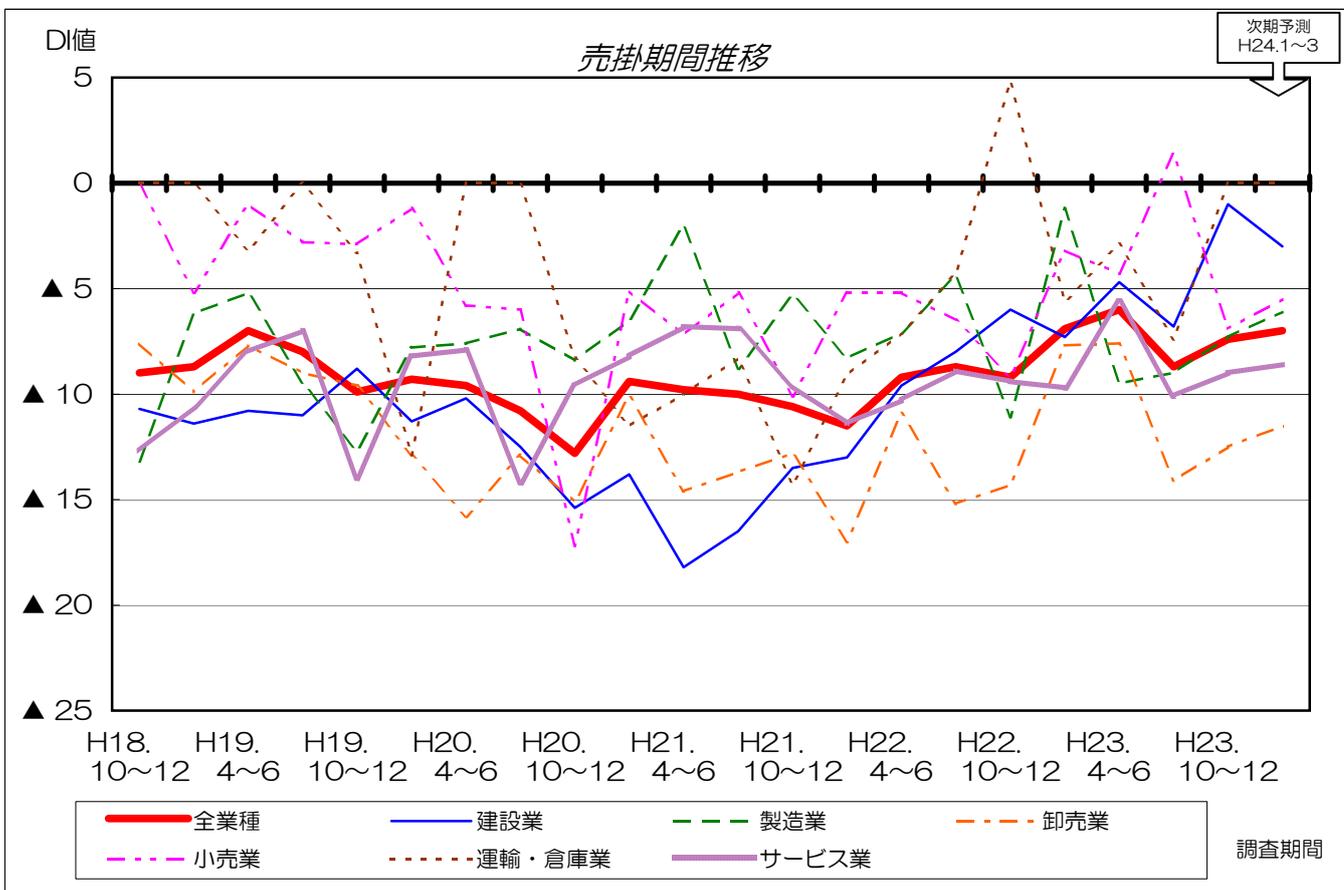
規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比2.1ポイント（前期DI値▲9.7）と改善したものの、大企業では前期比-9.1ポイント（同4.0）と悪化した。

次四半期予測DI値については▲7.0となっており、今期比で+0.4ポイントとほぼ横ばいが予測されている。

《 売掛期間(前年同期と比較して)》

(単位 %)

	今四半期(23年10~12月期)実績					次四半期(24年1~3月期)予測				
	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値
全業種	2.6	83.4	10.0	3.9	▲7.4	2.0	79.8	9.0	9.2	▲7.0
建設業	4.0	90.0	5.0	1.0	▲1.0	3.0	86.0	6.0	5.0	▲3.0
製造業	1.2	89.0	8.5	1.2	▲7.3	1.2	85.4	7.3	6.1	▲6.1
卸売業	2.9	80.8	15.4	1.0	▲12.5	1.0	82.7	12.5	3.8	▲11.5
小売業	4.1	80.8	11.0	4.1	▲6.9	2.7	78.1	8.2	11.0	▲5.5
運輸・倉庫業	0.0	96.4	0.0	3.6	0.0	0.0	96.4	0.0	3.6	0.0
サービス業	2.3	78.7	11.3	7.7	▲9.0	2.3	71.9	10.9	14.9	▲8.6
中小企業	2.6	83.0	10.2	4.2	▲7.6	1.9	79.3	9.5	9.3	▲7.6
大企業	2.6	89.7	7.7	0.0	▲5.1	2.6	87.2	2.6	7.7	0.0



## 8. 資金繰り

《4期ぶりの悪化、次期予測はさらに悪化へ》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は6.7%、「苦しい」と回答した企業は27.0%、「不変」と回答した企業は63.8%となっており、DI値は▲20.3（前期DI値▲19.3）と前期比-1.0ポイントの悪化となった。

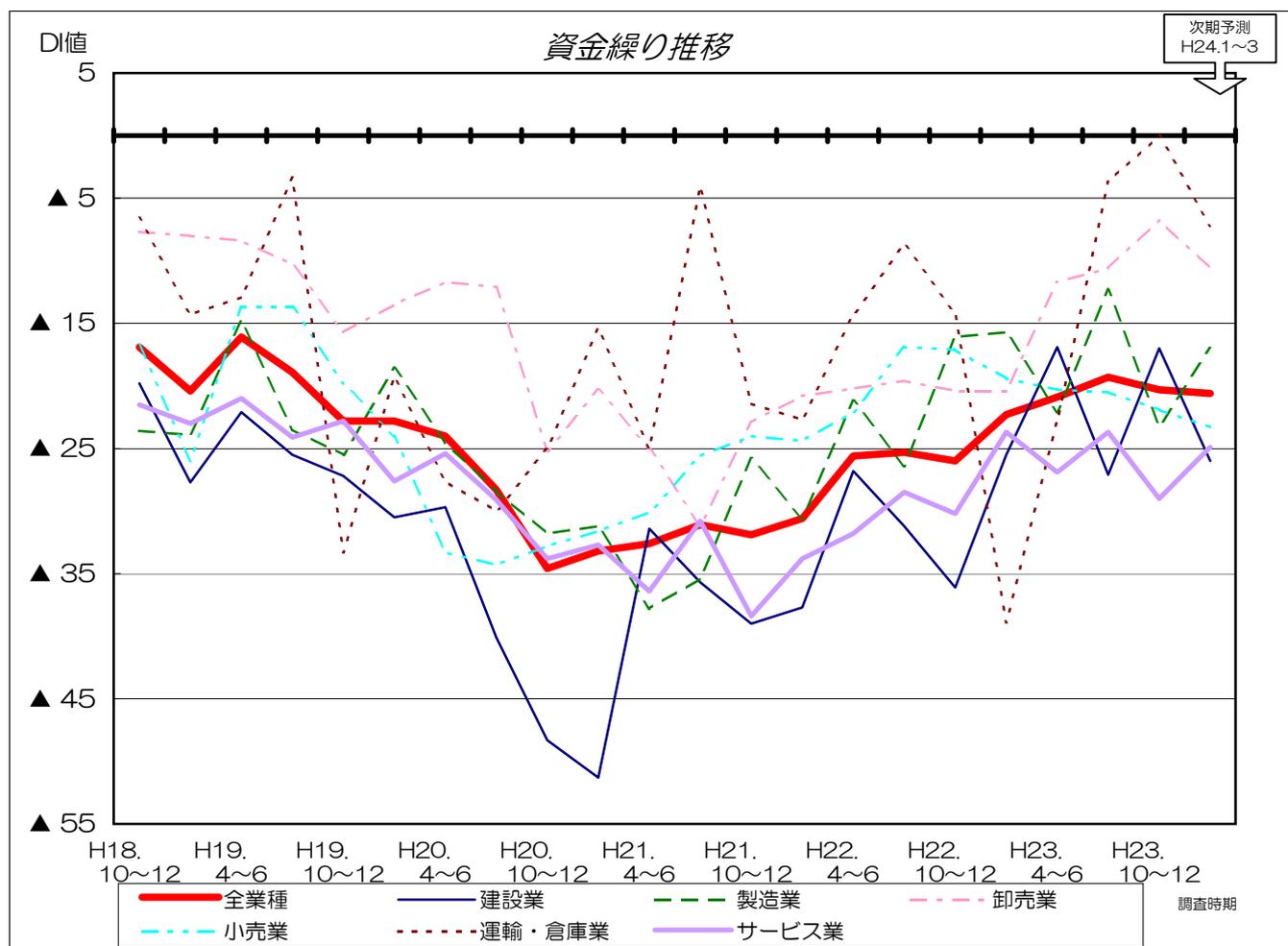
業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業が+10.1ポイント、卸売業+3.9ポイント、運輸・倉庫業+3.7ポイントと改善したものの、製造業-10.9ポイント、サービス業-5.3ポイント、小売業-1.4ポイントの悪化となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+0.2ポイント（前期DI値▲21.6）とほぼ横ばいで、大企業は前期比-10.6ポイント（前期DI値8.0）と悪化した。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

( 単位 % )

	今四半期(23年10~12月期)実績					次四半期(24年1~3月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	6.7	63.8	27.0	2.5	▲20.3	5.1	61.7	25.7	7.6	▲20.6
建設業	7.0	64.0	24.0	5.0	▲17.0	3.0	61.0	29.0	7.0	▲26.0
製造業	1.2	73.2	24.4	1.2	▲23.2	3.7	70.7	20.7	4.9	▲17.0
卸売業	8.7	75.0	15.4	1.0	▲6.7	4.8	76.0	15.4	3.8	▲10.6
小売業	9.6	57.5	31.5	1.4	▲21.9	6.8	54.8	30.1	8.2	▲23.3
運輸・倉庫業	10.7	75.0	10.7	3.6	0.0	7.1	75.0	14.3	3.6	▲7.2
サービス業	6.3	55.7	35.3	2.7	▲29.0	5.9	52.5	30.8	10.9	▲24.9
中小企業	6.9	62.4	28.3	2.5	▲21.4	5.1	60.3	27.1	7.6	▲22.0
大企業	5.1	84.6	7.7	2.6	▲2.6	5.1	82.1	5.1	7.7	0.0



## 9. 100万円以上の新規借入

100万円以上の新規借入を「行った」とする企業は45.4%（前期39.7%）と前期比で+5.7%の増加となった。一方で、「行ってない」とする企業は53.3%（前期59.1%）と前期比で-5.8%の減少となった。

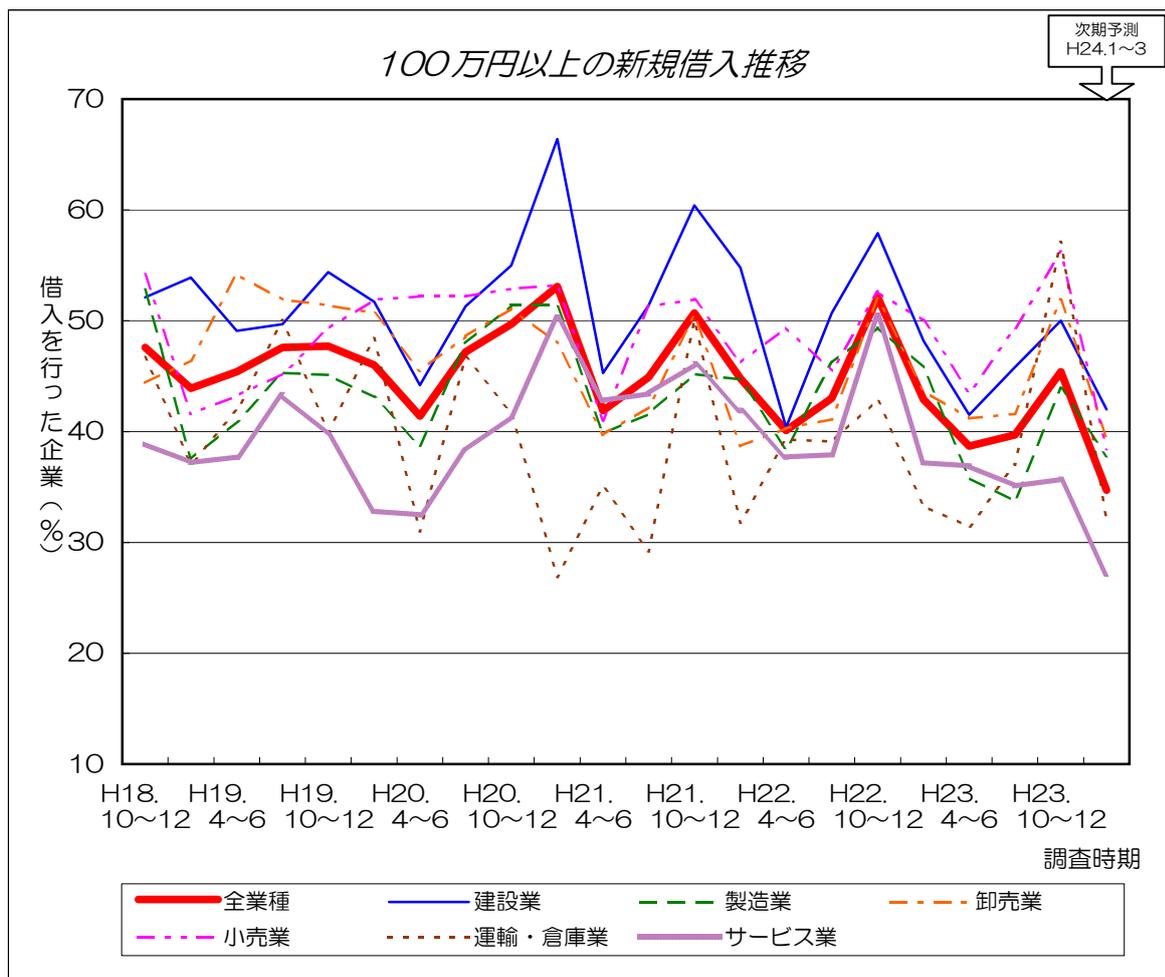
資金使途については、「運転」75.0%、「運転・設備」13.0%、「設備」7.2%という内訳になっている。

次四半期については、「行う予定」とする企業は34.7%、「行わない」とする企業は60.4%となっている。

《 100万円以上の新規借入 》

（単位 %）

	今四半期(23年10~12月期)実績			次四半期(24年1~3月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	45.4	53.3	1.3	34.7	60.4	4.9
建設業	50.0	50.0	0.0	42.0	57.0	1.0
製造業	43.9	53.7	2.4	37.8	57.3	4.9
卸売業	51.9	45.2	2.9	39.4	57.7	2.9
小売業	56.2	43.8	0.0	38.4	57.5	4.1
運輸・倉庫業	57.1	42.9	0.0	32.1	64.3	3.6
サービス業	35.7	62.9	1.4	27.1	64.7	8.1
中小企業	45.2	54.0	0.9	33.7	61.5	4.7
大企業	48.7	43.6	7.7	48.7	43.6	7.7



# 100万円以上の新規借入資金使途

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 新規借入の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 新規借入予定の資金使途(予測)			
	運転資金	運転設備	設備資金	無回答	運転資金	運転設備	設備資金	無回答
全業種	75.0	13.0	7.2	4.7	75.4	13.3	7.6	3.8
建設業	90.0	2.0	8.0	0.0	81.0	7.1	11.9	0.0
製造業	72.2	22.2	2.8	2.8	80.6	19.4	0.0	0.0
卸売業	77.8	13.0	1.9	7.4	73.2	19.5	2.4	4.9
小売業	70.7	17.1	4.9	7.3	71.4	21.4	7.1	0.0
運輸・倉庫業	50.0	12.5	31.3	6.3	66.7	11.1	22.2	0.0
サービス業	72.2	13.9	8.9	5.1	73.3	6.7	10.0	10.0
中小企業	77.8	9.7	7.4	5.1	79.2	8.9	7.8	4.2
大企業	36.8	57.9	5.3	0.0	36.8	57.9	5.3	0.0

## 10. 100万円以上の設備投資

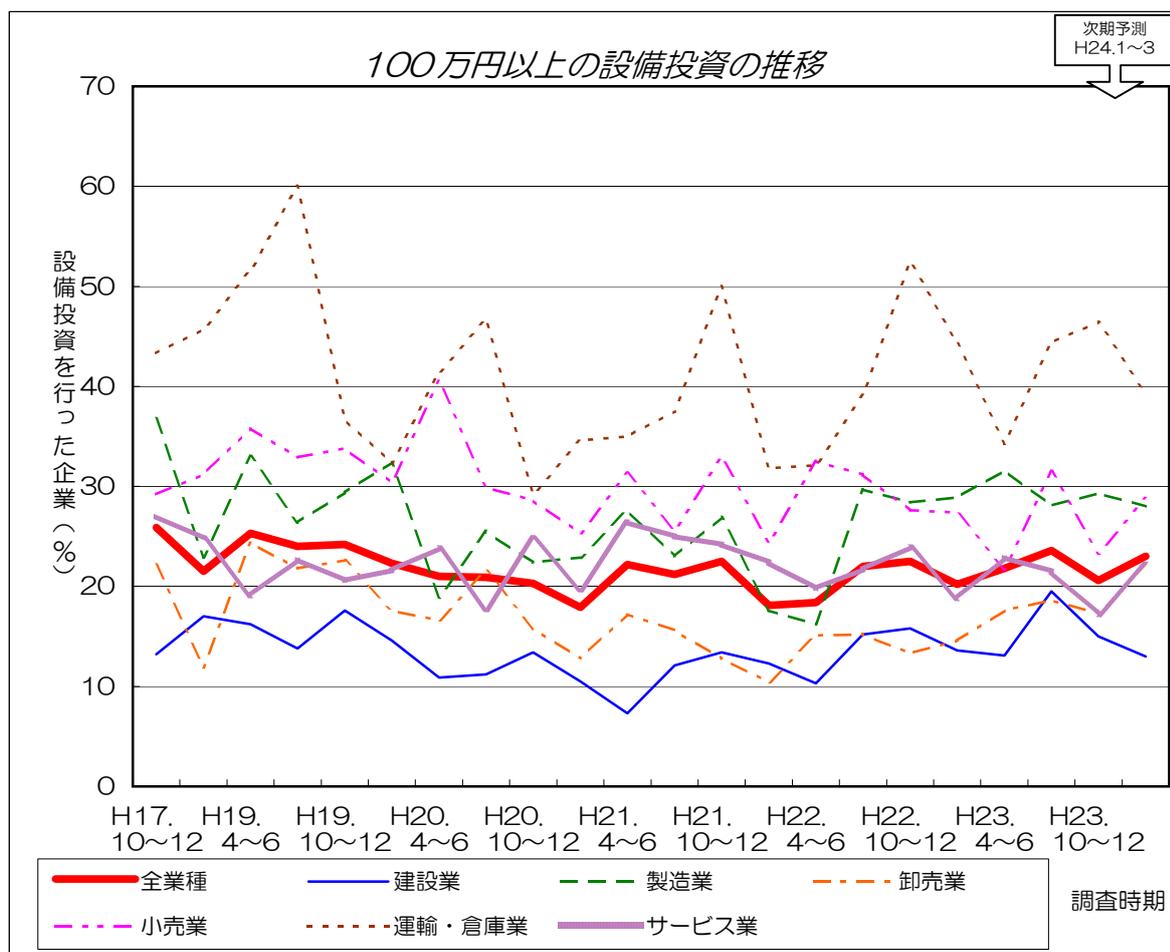
100万円以上の設備投資を「行った」とする企業は20.6%、「行ってない」とする企業は76.6%となっており、その投資内容については、「新規」24.0%、「新規・更新」39.2%、「更新」32.0%という内訳になった。

次期予測については、「行う予定」とする企業は23.0%、「行わない」とする企業は71.2%であり、その投資内容については、「新規」27.1%、「新規・更新」33.6%、「更新」33.6%となっている。

《 100万円以上の設備投資 》

(単位 %)

	今四半期(23年10~12月期)実績			次四半期(24年1~3月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	20.6	76.6	2.8	23.0	71.2	5.8
建設業	15.0	82.0	3.0	13.0	85.0	2.0
製造業	29.3	69.5	1.2	28.0	68.3	3.7
卸売業	17.3	76.0	6.7	22.1	72.1	5.8
小売業	23.3	75.3	1.4	28.8	67.1	4.1
運輸・倉庫業	46.4	53.6	0.0	39.3	53.6	7.1
サービス業	17.2	80.5	2.3	22.2	69.2	8.6
中小企業	17.8	79.6	2.6	20.0	74.2	5.8
大企業	61.5	33.3	5.1	66.7	28.2	5.1



# 100万円以上の設備投資

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 設備投資の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 設備投資計画の資金使途(予測)			
	新規	新規、更新	更新	無回答	新規	新規、更新	更新	無回答
全業種	24.0	39.2	32.0	4.8	27.1	33.6	33.6	5.7
建設業	20.0	46.7	33.3	0.0	15.4	38.5	46.2	0.0
製造業	12.5	37.5	45.8	4.2	13.0	34.8	43.5	8.7
卸売業	33.3	38.9	22.2	5.6	34.8	47.8	17.4	0.0
小売業	23.5	47.1	29.4	0.0	23.8	33.3	33.3	9.5
運輸・倉庫業	23.1	15.4	46.2	15.4	36.4	9.1	36.4	18.2
サービス業	28.9	42.1	23.7	5.3	32.7	30.6	32.7	4.1
中小企業	27.7	28.7	38.6	5.0	30.7	22.8	40.4	6.1
大企業	8.3	83.3	4.2	4.2	11.5	80.8	3.8	3.8

## 11. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」57.2%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」56.9%、「営業利益の低下」47.0%の3項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。

他に指摘が集中した項目として、建設業では「官公需要の停滞」が全業種で19.1%に対し45.0%、「元請の減少」が全業種で7.4%に対し29.0%と突出し、非常に高水準となっているのが特徴である。

《 当面の経営上の問題点(複数回答可) 》

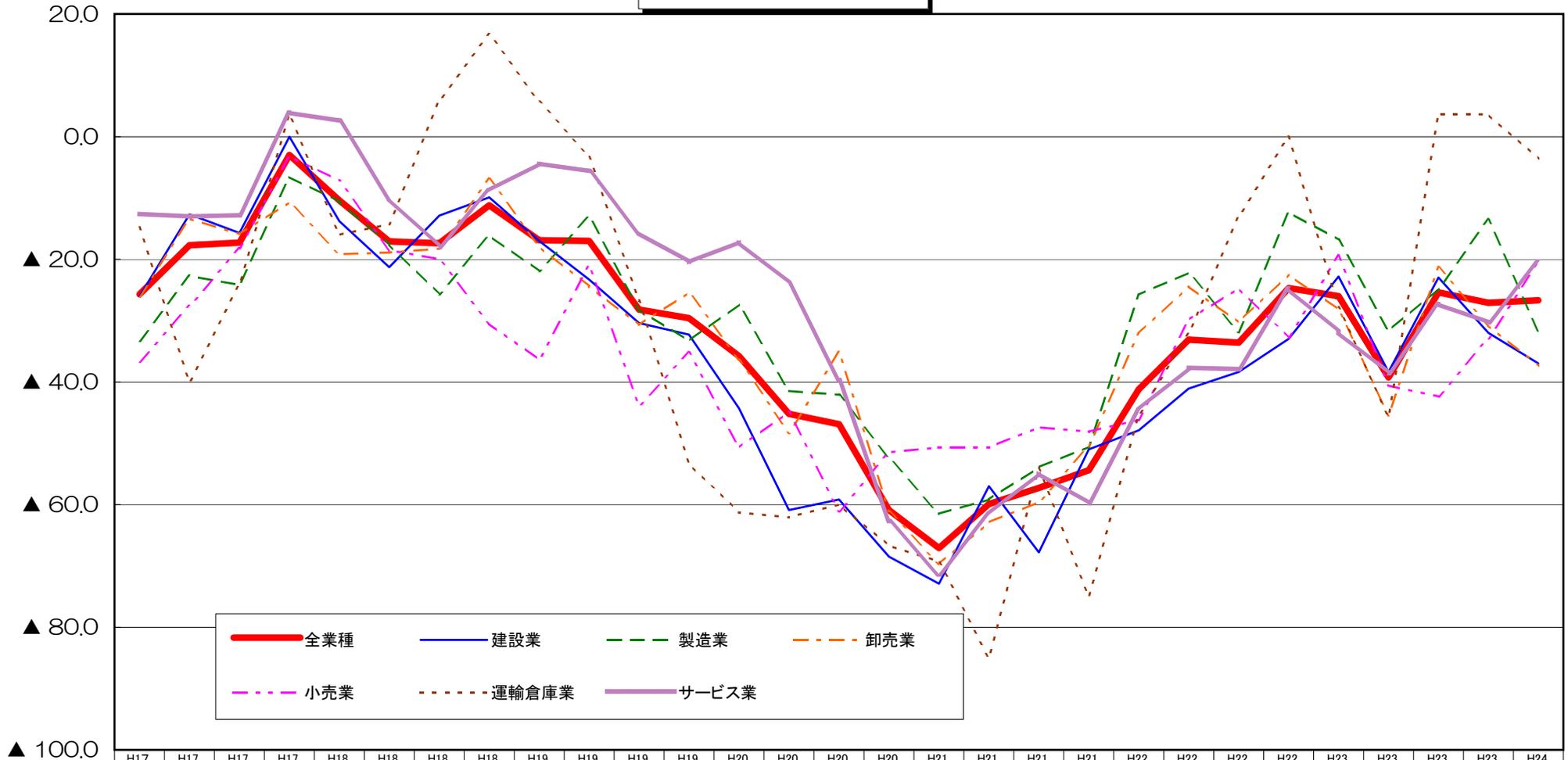
(単位 %)

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	の受注激化、販売競争	び額売、上額、工事高の伸び	出店、業者、大型店の進	店同、業者、大型店の停滞	官公需要の停滞	輸出不振	元請の減少	低下率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷、納品価格	過剰在庫	嫁販売価格への転	増難販、売代金の回収
全業種	57.2	56.9	15.3	19.1	2.0	7.4	5.4	11.8	12.7	4.6	20.9	4.9	6.7
建設業	80.0	65.0	13.0	45.0	0.0	29.0	7.0	10.0	12.0	0.0	16.0	2.0	5.0
製造業	54.9	62.2	7.3	13.4	3.7	2.4	11.0	26.8	25.6	7.3	36.6	6.1	8.5
卸売業	57.7	59.6	11.5	14.4	5.8	1.0	3.8	9.6	17.3	9.6	37.5	11.5	10.6
小売業	47.9	49.3	32.9	9.6	2.7	1.4	1.4	8.2	6.8	11.0	13.7	4.1	6.8
運輸・倉庫業	39.3	35.7	7.1	3.6	3.6	7.1	7.1	21.4	7.1	3.6	10.7	3.6	0.0
サービス業	52.9	55.2	16.3	16.7	0.0	4.5	4.5	8.1	8.6	1.4	13.1	3.2	5.9
中小企業	56.2	57.6	15.1	19.3	1.9	7.7	5.6	12.3	12.3	4.7	21.1	5.1	7.2
大企業	71.8	46.2	17.9	15.4	2.6	2.6	2.6	5.1	17.9	2.6	17.9	2.6	0.0

問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不隘店、舗、駐工場用地狭	代化、老朽化、近	店舗、設備、過	が家賃地代の値上	化難人、材定着、性の悪	費人手過剰、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担増加	難情報不足、人材	その他
全業種	21.9	47.0	1.3	5.4	0.3	16.4	7.4	3.6	7.9	4.9	3.9	2.5	2.0
建設業	16.0	56.0	0.0	2.0	0.0	17.0	4.0	3.0	6.0	12.0	2.0	3.0	0.0
製造業	19.5	47.6	1.2	7.3	1.2	9.8	4.9	0.0	4.9	2.4	0.0	3.7	1.2
卸売業	21.2	37.5	1.0	2.9	0.0	14.4	5.8	3.8	5.8	1.9	3.8	1.0	1.9
小売業	27.4	45.2	2.7	9.6	0.0	9.6	9.6	0.0	2.7	6.8	6.8	0.0	4.1
運輸・倉庫業	25.0	32.1	0.0	7.1	0.0	25.0	3.6	3.6	7.1	0.0	0.0	7.1	3.6
サービス業	23.5	49.8	1.8	5.9	0.5	20.8	10.4	6.3	12.7	4.1	5.9	2.7	2.3
中小企業	22.0	48.0	1.4	5.6	0.4	17.2	7.4	3.5	8.4	5.3	4.2	2.3	1.9
大企業	20.5	33.3	0.0	2.6	0.0	5.1	7.7	5.1	0.0	0.0	0.0	5.1	2.6



### 自社業況DI値の推移



	H17.1~3	H17.4~6	H17.7~9	H17.10~12	H18.1~3	H18.4~6	H18.7~9	H18.10~12	H19.1~3	H19.4~6	H19.7~9	H19.10~12	H20.1~3	H20.4~6	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	H22.1~3	H22.4~6	H22.7~9	H22.10~12	H23.1~3	H23.4~6	H23.7~9	H23.10~12	H24.1~3	
全業種	▲ 25.7	▲ 17.7	▲ 17.3	▲ 3.0	▲ 10.4	▲ 17.1	▲ 17.4	▲ 11.2	▲ 16.9	▲ 17.0	▲ 28.2	▲ 29.6	▲ 35.8	▲ 45.2	▲ 46.9	▲ 60.9	▲ 67.1	▲ 59.9	▲ 57.3	▲ 54.4	▲ 41.2	▲ 33.1	▲ 33.6	▲ 24.7	▲ 26.0	▲ 39.3	▲ 25.4	▲ 27.1	▲ 26.7	
建設業	▲ 26.0	▲ 12.7	▲ 15.7	0.0	▲ 13.8	▲ 21.3	▲ 12.9	▲ 9.9	▲ 17.0	▲ 23.3	▲ 30.4	▲ 32.3	▲ 44.3	▲ 60.9	▲ 59.2	▲ 68.5	▲ 72.9	▲ 57.0	▲ 67.8	▲ 51.0	▲ 47.9	▲ 41.1	▲ 38.4	▲ 33.0	▲ 22.8	▲ 38.4	▲ 23.0	▲ 32.0	▲ 37.0	
製造業	▲ 33.3	▲ 22.7	▲ 24.2	▲ 6.6	▲ 10.6	▲ 17.6	▲ 25.7	▲ 16.1	▲ 21.9	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 33.3	▲ 27.4	▲ 41.5	▲ 42.1	▲ 52.4	▲ 61.5	▲ 59.2	▲ 53.9	▲ 50.6	▲ 25.8	▲ 22.2	▲ 31.9	▲ 12.3	▲ 16.8	▲ 31.7	▲ 24.8	▲ 13.5	▲ 31.8	
卸売業	▲ 26.1	▲ 13.4	▲ 15.9	▲ 10.7	▲ 19.2	▲ 18.9	▲ 18.3	▲ 6.9	▲ 17.9	▲ 24.4	▲ 30.7	▲ 25.4	▲ 36.4	▲ 48.3	▲ 35.1	▲ 61.1	▲ 69.7	▲ 62.9	▲ 59.6	▲ 50.5	▲ 32.1	▲ 24.4	▲ 30.3	▲ 22.5	▲ 28.2	▲ 45.4	▲ 21.3	▲ 30.8	▲ 37.4	
小売業	▲ 36.7	▲ 27.6	▲ 18.2	▲ 3.2	▲ 7.2	▲ 18.5	▲ 20.0	▲ 30.5	▲ 36.4	▲ 21.0	▲ 43.9	▲ 35.2	▲ 50.7	▲ 44.9	▲ 61.1	▲ 51.5	▲ 50.7	▲ 50.7	▲ 47.4	▲ 48.1	▲ 46.2	▲ 29.9	▲ 24.7	▲ 24.7	▲ 32.8	▲ 19.4	▲ 40.6	▲ 42.4	▲ 32.9	▲ 20.5
運輸倉庫業	▲ 14.8	▲ 40.0	▲ 24.1	3.6	▲ 16.0	▲ 14.3	5.9	16.7	5.7	▲ 3.2	▲ 26.7	▲ 53.3	▲ 61.3	▲ 62.1	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 69.3	▲ 85.0	▲ 54.1	▲ 75.0	▲ 45.4	▲ 32.1	▲ 13.0	0.0	▲ 27.8	▲ 45.7	3.7	3.6	▲ 3.6	
サービス業	▲ 12.6	▲ 13.0	▲ 12.8	3.9	2.6	▲ 10.1	▲ 18.0	▲ 8.8	▲ 4.4	▲ 5.6	▲ 15.7	▲ 20.5	▲ 17.2	▲ 23.9	▲ 39.7	▲ 62.7	▲ 71.4	▲ 61.6	▲ 54.9	▲ 59.8	▲ 44.6	▲ 37.7	▲ 37.9	▲ 24.8	▲ 31.9	▲ 38.6	▲ 27.3	▲ 30.3	▲ 20.4	